

菊池市新庁舎建設に関するアンケート結果報告

表3 新庁舎周辺の必要施設要望

新庁舎周辺必要施設	回答数	全体割合	単位：%						
			20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
1 芝生広場等の公園や憩いの場	853	19.0	22.7	21.5	21.4	18.0	18.4	16.2	
2 生涯学習センターや図書館	842	18.8	22.4	23.2	24.7	20.6	16.5	12.3	
3 体育館や屋外運動場等のスポーツ施設	476	10.6	13.5	15.0	11.8	9.6	8.4	9.3	
4 社会福祉施設や保健衛生・健康増進施設	621	13.8	8.5	9.8	12.3	13.1	17.1	16.8	
5 市内循環バス及び広域バス路線のバスターミナル	828	18.5	12.1	12.1	13.9	19.7	20.1	24.0	
6 スーパー等の商業施設	226	5.0	6.9	5.8	3.9	6.2	4.1	4.8	
7 観光・レジャー施設	128	2.9	4.6	4.2	2.8	2.1	2.6	2.1	
8 病院等の医療施設	357	8.0	6.2	4.6	5.5	7.4	8.5	11.5	
9 住宅用地	44	1.0	1.4	0.8	0.7	1.0	1.2	0.9	
10 その他	113	2.5	1.8	2.9	2.7	2.4	3.1	2.1	

④新庁舎周辺に必要な施設について
 新庁舎周辺に必要なと思われる施設について、例から選択し回答（重複回答3つ以内）いただいたものをまとめたのが表3です。
 「芝生広場等の公園や憩いの場」については、若い年代での要望が多く、実現に当たっては広い用地の確保が必要となります。
 また、「市内循環バス及び広域バスターミナル」については、高齢層での要望が多く、①の交通手段要望と同じ結果となりました。
 「生涯学習センターや図書館」については、各年代で平均的に多く、新庁舎との併設等の検討が必要と思われる。
⑤自由意見
 新庁舎についての自由意見（記述式）が1,013人から寄せられ、意見の文言により表4と表5の2点をまとめました。
 表4のその他の意見としては「図書館の設置」、「窓口業務等の時間延長、休祝日の開庁」、「職員のリストラ、人件費削減」、「人材育成、職員教育が必要」などがありました。

表4 新庁舎建設についての意見

意見内容	件数
「新庁舎建設の推進」、「新庁舎への要望」などの意見	596
うち、「財政等を考慮するように要望」などの意見	116
新庁舎建設位置の再検討を望む意見	57
「新庁舎建設の再検討」、「新庁舎は必要ない」などの意見	93
その他の意見	267

表5 新庁舎建設後の支所の必要性について

意見内容	件数
「支所は残してほしい」、「高齢化の中では必要」などの意見	471
「支所は必要ない」、「効率化のため廃止すべき」などの意見	28



アンケート調査・結果について問い合わせ先
 菊池市新市調整室
 ☎ (25) 11111
 www.city.kikuchi.kumamoto.jp/

まとめ

アンケートには、新庁舎建設関連以外の多くの意見や指摘、要望などをいただきました。
 特に、指摘いただいた件については、内容を庁内に回覧し、職員に周知を行うとともに、早期対応を図るよう努めてまいります。
 結果は、新庁舎建設および支所機能の検討資料として、役立てていきます。
 ※菊池市ホームページにアンケートの詳しい内容を掲載しております。

菊池市新庁舎建設に関するアンケートへの多数の「意見」ありがとうございました

調査結果を報告します

新庁舎の建設は、合併協議の中で「略」合併後3年を目標に新庁舎を建設することとし、国道325号・387号間の菊池市道花房森北線(菊池グリーンロード)沿線周辺に適地を求める。(略)と確認されています。
 このため、新庁舎建設の方向性、現庁舎の活用についての意見を収集するためにアンケート調査を実施しました。

配布および回収

今回のアンケート調査は、菊池市民5,000人(20歳以上を無作為に抽出)を対象に、8月15日から8月31日までの15日間、郵送による配布と回収を行いました。
 アンケートにご協力いただいた皆さんには、感謝申し上げます。

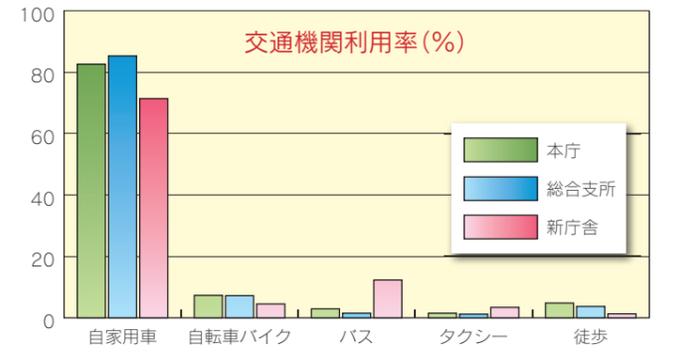
調査結果

①市役所訪問時の交通手段について
 現在の市役所および総合支所への訪問時の交通手段と新庁舎

表1 地域別回収状況

地域別	配布数	回収数	回収率(%)
菊池	2,572	1,077	41.9
七城	547	248	45.3
旭志	506	194	38.3
泗水	1,375	550	40.0
不明	-	74	-
計	5,000	2,143	42.9

右のグラフから分かるように、現庁舎(本庁、総合支所)への訪問交通手段は、自家用車使用が80%を越えています。
 また、新庁舎(花房台)への交通手段は、自家用車使用が70%強と多いものの、バス利用の要望が12.3%と大きく増加しています。
 新庁舎の建設には、自家用車への対応(駐車場、周辺道路網整備)と併せてバス利用の利便性向上のため、バス路線の見直しが必要です。



②本庁および総合支所への訪問用件について
 現本庁、総合支所への訪問用件を窓口関係(戸籍・住民票・印鑑登録、各種申請、お金の給付・納付など)、窓口以外(福祉関係相談、農林業関係相談、税務関係相談など)の2つに区分した場合、その比率は7対3でした。
 合併協議で新庁舎建設後は、現在の4総合支所を支所として残すことが確認されています。
 また、アンケート(⑤自由意見)でも支所の存続を多くの市民の方が要望されています。

市内循環バスなどの検討が必要と思われる。
③新庁舎施設内に必要な市民開放施設について
 新庁舎内に必要と思われる市民開放施設を、例から選択し回答(重複回答2つ以内)いただいたものをまとめたのが表2です。
 「レストランやお茶が飲めるラウンジ」については、各年代とも要望が多く、「各団体、市民が自由に使える会議室」および「催しや展示ができる開放的なスペース」については、高齢層での要望が多くありました。

表2 新庁舎施設内の市民開放施設要望(年代別)

市民開放施設	回答数	全体割合	単位：%						
			20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
1 レストランやお茶が飲めるラウンジ	771	25.0	25.3	26.5	23.2	25.2	27.0	24.3	
2 催しや展示ができる開放的なスペース	622	20.2	15.3	13.1	18.8	22.9	21.8	22.3	
3 ミニコンサートや講演会、舞踊などが楽しめる小ホール	341	11.1	11.0	11.0	9.2	10.2	10.5	13.2	
4 インターネットが使える情報コーナー	345	11.2	25.0	24.4	16.3	8.6	5.0	4.2	
5 各団体、市民が自由に使える会議室	655	21.3	12.0	14.3	20.9	20.8	23.5	26.2	
6 その他	93	3.0	8.3	3.4	4.0	2.3	2.6	1.2	
7 市民開放施設は必要ない	255	8.3	3.0	7.3	7.7	10.0	9.6	8.6	